

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり、「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 本体に熱湯を入れ、クエン酸を約5g加える。
 - ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
 - ③ 十分に乾燥させる。
- ご使用前、ご使用後は、十分にお手入れをしてください。おいを防ぎ清潔にご使用いただけます。
 - 他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまる場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	確 認 す る と こ ろ	処 置
■ 飲みもの(本体内側)がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側に茶しぶなどの汚れが付着していないませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
■ 保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていますか。	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れてください。

お客様相談窓口 0570-094891

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。

Peacock

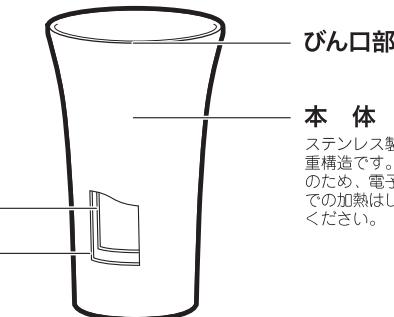
冷酒タンブラー 取扱説明書

ATK型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ

タンブラー

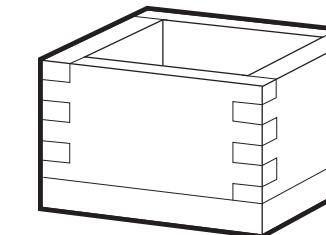


本体

ステンレス製真空二重構造です。金属製のため、電子レンジでの加熱はしないでください。

枠

[ハ勺枠]



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。 ①

飲みものの保温・保冷以外に使用しない

● 乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。
やけどけがなど危険。

● ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。変形・変色の原因。

● ドライアイスは入れない。

● 飲みものを入れた状態で長く放置しない。

みぞ汁やスープなど、塩分を含んだものを入れ放置すると、塩分によりサビの原因になります。
また、牛乳・乳飲料・果汁などをそのまま放置した場合、腐敗・変質・サビの原因になります。

● 飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。

外出時など十分なお手入れができるときでも、すぐに本体内側をよく水ですすぐ。
帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

● 倒したり、落としたりぶつけたり、強い衝撃を与えない。

破損・保温(保冷)効果の低下・サビの原因。

● 熱い飲みものを入れた場合は、やけどのおそれがあるので注意する。
断熱効果により、熱いものを入れても本体外側は熱くなりません。

● 熱いやかんをびん口部に触れさせない。転倒しやけどなどのおそれ。傷・変形の原因。

● 熱い飲みものを入れて使用するときは、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。急に傾けると飲みものが勢いよく流れ、やけどなどのおそれ。

● 氷を入れる場合は、押こします小さくしてから入れる。また、
アイスピックなど先のとがったもので突かない。傷・変形など故障の原因。

● パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械の近くで使用しない。
万一こぼした場合、精密機械の破損の原因。

● 不安定な場所に置かない。転倒して飲みものがこぼれ、やけどやものを汚す原因。

● 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。

● 冷凍庫に入れないと。故障の原因。

● 電子レンジでの加熱はしない。火花が飛び危険。変形や変色の原因。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 煮沸はしない。故障の原因。
- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。
傷・サビなど故障の原因。

タンブラー

- 台所用以外の洗剤は使用しない。
- 丸洗いできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 丸洗いした後は、必ず水分をふきとる。
ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、
十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。

枠

- 洗剤・熱湯は使用しない。
洗剤を使用すると、木が成分を吸収してしまい衛生的ではありません。
- つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- ご使用後はすぐにお手入れをする。お手入れ後は必ず水分をふきとり、風通しのよい場所で陰干しをして十分乾燥させる。
十分乾燥せないと、カビなどが発生する原因。
- 食器洗浄機や食器乾燥機などの使用はしない。
変形などにより、もれの原因。
- 急な乾燥によるひび割れや変形を防ぐため直射日光や温風をあてない。変形などにより、もれの原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、
十分乾燥させて、直射日光・高温多湿をさけて保管する。
カビなどが発生する原因。
カビ対策には、除湿剤と一緒に保管することをおすすめします。